



2007年6月
号外
(第1・第3金曜日発行)

民主党プレス民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話: 03-3595-9988(代電)
press@dj.or.jp http://www.dj.or.jp
民主党山口県総支部連合会
〒753-0074 山口県山口市中央5丁目8-12
電話: 083-933-0839

参議院議員選挙特集 明日の日本 生活維新

第21回 参議院議員選挙山口県選挙区 公認 予定候補



誰もがいきいきと働き、いたわり合い、信頼し合うことのできる地域社会の再生を望みます。それを住民が担える仕組みづくりを目指し、本当の意味での地方分権を実現したいと思えます。弱者切り捨ての政治を変えるためにも政権交代が必要です。

日本の笑顔をももりたい。 とくらはたかこ

Takako Tokura
SmileLink!

TAKAKO TOKURA PERSONAL DATA プロフィール

とくらはたかこ [戸倉 多香子]

- 1959年 山口県周南市櫛ヶ浜に生まれる
櫛ヶ浜小学校・太華中学校卒業(47歳)
- 県立徳山高等学校卒業
(ハンドボール部所属・インターハイ出場)
- 図書館短期大学(現在:筑波大学)図書館学科卒業
- 周南市在住 夫・子供・夫の母の6人家族

活動歴

- 周南ねっと 代表
中心市街地にある古いビルの再生アイデアコンペ、徳山RCビルにてミニFM局開局、まちづくりミーティング等々を主催し、市民参加によるまちづくりを目指す。市町村合併後のまちづくりを考えるフォーラム等も主催。
- 旧徳山市インバク出展実行委員会 委員長
- 山口県男女共同参画審議会委員等
- 周南のよあけを導く会 代表
平成の大合併において全国でまきおこった議会解散運動としては、東かがわ市に続き2例目の住民運動をしている。全国の合併協議にも影響を及ぼすこととなる。



“改革”を問いなおす。

誰のための改革か。

テレビでは、5年連続の大増収との大企業のニュースが流れていますが、働く人たちの4人に1人が年取200万円以下、4世帯に1世帯は、預貯金ゼロの世帯。自殺者は3万人を超え、経済的な理由によるものが全体の4分の1を占めています。

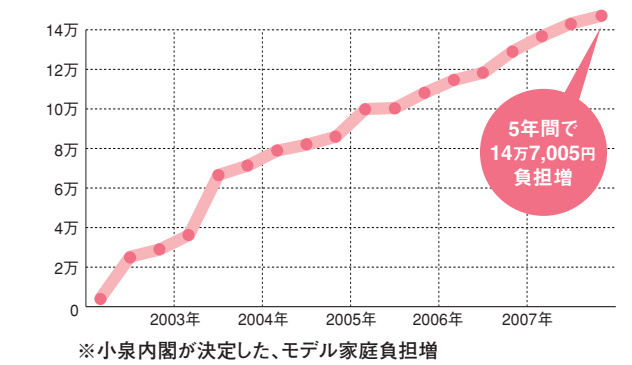
5年半の小泉政権の間に続いた「改革」とは、いったい誰のための改革だったのでしょうか。痛みを耐えれば良い時代が来ると期待した私たちに、結局、痛みだけが押しつけられたのではないですか？

その「改革」を小泉政権の中核で支え、さらに継承すると言われて誕生した安倍政権。「改革を止めるな」とのかけ声で進められる政治は、強い者をさらに強くし、弱者への必要な支援は削る冷たい政治。これでは、格差は広がる一方です。

必要なセーフティネットを再構築しなければならないと考えます。その上での自由競争こそ地域を活性化させるものです。誰もが同じスタートラインにたてる社会を作ることが政治の役割だと考えます。格差が固定化した、希望の持てない国を子供たちの世代に引き継ぎたくありません。もっとあたたかい公正な社会を目指します。

いつのまにか家計の負担が14万7,005円も増えています

| | | |
|--------|-----------------------|---------|
| 02年10月 | 雇用保険料引き上げ | 4,434円 |
| 03年 4月 | 政府管掌 健康保険料引き上げ | 20,820円 |
| 03年 5月 | 酒税(ワイン・発泡酒)の増税 | 3,650円 |
| 03年 7月 | たばこ税の増税 | 7,300円 |
| 04年 1月 | 配偶者特別控除 上乗せ部分の廃止(所得税) | 30,400円 |
| 04年 3月 | 介護保険料引き上げ(政管健保加入者分) | 4,719円 |
| 04年10月 | 厚生年金・共済年金 保険料引き上げ | 7,593円 |
| 05年 3月 | 介護保険料引き上げ(政管健保加入者分) | 3,003円 |
| 05年 4月 | 雇用保険料引き上げ | 4,050円 |
| 05年 6月 | 配偶者特別控除 上乗せ部分の廃止(住民税) | 14,000円 |
| 05年 6月 | 住民税均等割の増税 | 500円 |
| 05年 9月 | 厚生年金・共済年金 保険料引き上げ | 7,593円 |
| 06年 1月 | 定率減税の縮減(所得税) | 6,500円 |
| 06年 6月 | 定率減税の縮減(住民税) | 3,700円 |
| 06年 7月 | たばこ税の増税 | 10,950円 |
| 06年 9月 | 厚生年金・共済年金 保険料引き上げ | 7,593円 |
| 07年 1月 | 定率減税の廃止(所得税) | 6,500円 |
| 07年 6月 | 定率減税の廃止(住民税) | 3,700円 |



とくらはたかこは行動します

- 1 格差の固定化・拡大は許せません。
(年金・医療・福祉・雇用)のセーフティ・ネットをあらためて構築します。
- 2 地域のくらしや特性がいかされる分権自治を進めます。国と地方の税配分を改め、自己決定できる自治体財政の確立につとめます。
- 3 民主主義のあるべき姿をとりもどすため、誠実で筋のとおった政治、市民と協働できる政治をめざします。

とくらはたかこ 各地で声援を受け 全力疾走中!

今、戸倉多香子が強く訴えている問題が「格差問題」「増税・負担増」「官製談合」「天下り規制」「年金制度改革」等々です。

県内各地で「がんばれ!」の声援に励まされ初夏の風を感じながら全力疾走しています。

とくらはたかこ後援会へのご連絡、お問い合わせは
〒745-0076 周南市梅園町二丁目52番地3
TEL 0834-32-6071 FAX 0834-32-6072

とくらはたかこのホームページ
<http://www.tokuratakako.jp>

徳山駅前事務所 開設

お近くにおいでの際は、お気軽にお立ち寄りください。

参議院比例区より立候補予定です。

政治に信頼を 世のなか安穏なれ

民主党参議院比例区 第30総支部代表 岩国市在住

●浄土真宗本願寺派(西本願寺)僧侶

藤谷光信

ふじたに こうしん



Takako Tokura Interview

とくらたかこインタビュー ● みんなで変える、日本のかたち。



日本の笑顔をまもりたい!

まだ間に合うかもしれない。おかしいことには声を上げよう!

もともと好奇心は旺盛だが「ふつうの主婦」だった。9年前、徳山の中心市街地にある古いビルの再生アイデアコンペをやるうと集まった仲間と、まちづくりグループ「周南ねっと」を立ち上げる。駅ビルにミニFM局を開局したり、住民の熱意とアイデアによる「まち」の活性化に挑戦。市町村合併後のまちづくりを考えるフォーラムも主催した。

ちよび自治体でクオータ制が意識され始めた頃で、たくさんの審議会から委員にと声がかかるようになる。

でも、場数を踏み、たくさんの人と出会う中で、「ふつうの主婦が育っていくのを我が身で実感」。市民が力をつけて声を上げる癖をつけなければと目覚めた。

平成15年春、2市2町が合併して周南市誕生。議員報酬の高額一律化の怒りから、署名を集めて市議会を解散に追い込む。この成果は、全国の合併協議にも影響を及ぼした。

語り&論じ合い、つなげる力を信じた

「昨年5月から、インターネット上の日記「ブログ」を書き始めた。夏、郵政民営化法案をめぐる解散劇に、小泉改革の怒りに起爆スイッチが入る。全国のプログラマーと連動して「日本の民主主義を守るためにネットの中に世論を起そう」と、連日ブログ上で呼びかけ、抗議し、リンクを貼って、「STOP THE KOIZUMI」を仕掛ける一人となる。9月の選挙での惨敗の結果に無力感に襲われたが、「あきらめずに怒り続け、一人ひとりの底力を信じよう」と共謀罪や年金不正処理問題に、その都度、怒りの声を上げ続けてきた。

郵政民営化の是非を問う9.11選挙への怒りが強いのですが、なぜですか?

マスコミと政権が束になって世論を誘導するような状況が生まれたと感じました。アメリカ政府の年次改革要望書と郵政民営化との関わり等、国会で議論された内容が、テレビでは報道されませんでした。小泉政権へ批判的な評論家はテレビに登場しなくなつたように見え、

誰もが無邪気に笑える、あたたかくて公正な社会を実現します。

普通の市民の視点で国民の側に立つという、当たり前のことが今の政治には必要なのではないでしょうか? 今は、一部の強い人たちのためだけの政治が行われています。おかしいことはおかしいと私たちが声をあげれば変えることができます。私はそう信じています。

出しているんですよ。残念ながら、ほとんど審議されません。これこそ最大の審議拒否だと、民主党山口県連代表の平岡秀夫衆議院議員が、集会で話されていました。私もそう思います。民主党が準備している政策は、国民の視点にたっており、自信をもって紹介できます。

具体的には、どのような政策があるのですか?

民主党は、**チルドレン・ファミリー**(子ども第一主義)という大きな政策の柱を掲げています。子育て世帯の経済的負担を軽減するための**1人あたり月額2万8千円**の子ども手当政策、

すべての子どもたちが等しく安全な環境で学び、育つ環境を整備する「**学校安全対策基本法案**」(第164回通常国会に提出)、**保育所と幼稚園を子ども家庭省のもとで一本化**等々を盛り込んだ「**育ち育む応援プラン**」を発表しています。

また、大規模農家だけに適用する今の制度とは違う、**すべての販売農家への所得補償制度**も掲げています。所得補償は、世界の先進国では当たり前となつて



ています。食糧自給率アップを目指し、美しい国土をまもっていく制度です。農家へ所得補償することにより、消費者である私たちの台所(食の安全)も支える政策なんです。政権与党には、危機感からか、ばらまき政策だと批判される方もありますが、民主党は、これまでの税金の使い方を

これはどういったことだろう、と大変ショックを受けました。それらに怒りと不安を覚え、今回の参議院選挙に出馬することを決意されたということですね。周南市議会解散運動での経験も影響しましたか?



周南市議会解散運動「周南ショック」は全国の注目を集めた。

「はい、そう思います。議会解散運動の時、おかしいことはおかしい、と私たちが声をあげれば変わるんだということを経験しました。それは、地域だからできたことだ、とは思えません。ひとつの地域の出来事が全国に連鎖することは、東かがわ市、周南市と続いた議会解散運動があつたという間に全国にひろがっていったことが証明されています。国のことも、私たち国民が声をあげれば、きつと動かすことができます。そう信じています。



市民ひとりひとりが力をつけることが重要だと考えたのですが、そのためにまず「知る」と思っています。知らなければ疑問も怒りも感動も生まれません。無関心のままです。国のことも同じですね。

今の自民党・公明党政権による政治を、弱者切り捨て、地方切り捨ての冷たい政治だと怒つておられる方は多いのですが、民主党に政権を任せて大丈夫かね?と言われる方もいらっしゃいますよね。

民主党は反対ばかりしている、と言われる方もいるのですが、民主党は国会に多くの法案を

抜本的に見直し、本当に国民のために税金の使い方に改めれば、財源は確保できると試算しています。政権交代により、ぜひ、実現したいと思っています。

これらの政策により、新しい日本のあるべき姿も見えてきますね。

はい、そのためにも、この度の参議院選挙は重要だと思えます。

政権交代で実現します 民主党

チルドレン・ファミリー

子どもにしっかり投資します
「子ども手当」(児童手当)の充実
出生時助成金の創設
奨学金制度の大幅な拡充
高等教育の無償化
「育ち育むための環境を整備します」
質の良い居場所を、幼保一本化
保育・幼児教育・学童保育の拡充
「学校安全対策基本法」の制度
個々のニーズにきっちり応えます
虐待、搾取及び暴力を受けたとき
産みだしたのにそれが難しいとき
子どもたちのための行動計画
「未来世代応援基本法」を創ります
子どもへの権利条約が基本です
「子ども家庭省」と「子どもオンブズ」を設けます

食の安全と食料自給率アップ
世界の先進国並みの所得補償制度を導入します
民主党の国会提出法案(概要)
● 国の食料自給率の目標
10年で50% 将来的には60% 最終的には100% 自給率を目標とします
● 対象農家
全ての販売農家
● 支払総額
当面1兆円。必要に応じて拡大。

日本の農業予算の使われ方
18年度農林水産予算総額
食料安定供給関係費 6,361億円 22%
公共事業費 1兆2,617億円 45%
一般事業費 9,332億円 33%
● 半分は公共事業費
● 農家に届く補助金はほんのわずか
● 逆に農家は土地改良などの直接負担ばかり

圧倒的に低い日本の農家補償
農業所得に占める戸別所得補償の割合
アメリカ 46%
フランス 52%
ドイツ 50%
イギリス 71%
日本 0.7%
日本は中山間地域の直接支払い等221億円しか支出していない

中小企業への資金調達を最優先
全国の事業所の99%が中小企業で、労働者の8割が働いています。中小企業こそが日本の社会を支えているのです。
民主党は中小企業の味方です。中小企業・ベンチャー企業が金融機関からお金を借りたり、証券市場から資金を調達できることを最重点とします。また、旧来の取引・金融慣行を是正し、中小企業の公平・公正な競争環境を確保します。

地域社会を支えるまちづくり
商店街を含む中心市街地は、地域社会に欠かせない存在です。お年寄りを含む住民の生活基盤を確保し、地域の伝統や文化を伝えるため、子どもと商店街が共存する賑わいのある「まちづくり」に力を注いでいきます。

その他の政策
● 低所得者層に配慮した所得税改革。相続税や贈与税見直し。証券優遇税制廃止。
● 年金の基礎部分の財源は全額税とし、所得比例部分は現行の給付水準を維持
● 産科や小児科医師の偏在の解消
等々